

東海自然歩道を完歩しました

2018年5月30日 池内淑皓

2014年4月20日東京高尾山（東の起点）を出発して4年、2018年（H30）年4月26日（木）12時50分大阪箕面ビジターセンター（西の起点）にゴールしました。11都府県、92市町村を通過する1,343kmを完歩した事になります。

東海自然歩道とは、1969年（昭和44年）厚生省（環境省に継承）が明治100年を記念して、東京の明治の森「高尾山国定公園」から大阪府箕面市の明治の森「箕面国定公園」まで、緑豊かな自然と貴重な歴史を伝える古道、文化財も点在しており、心身の健康と安らぎを与える長距離自然歩道として整備を行い、1973年に完成した。

高度経済成長時、集いの場として自然を見直し、観光地でもない、山奥でもない、しかし自然の生態系が存在している場所として公園に指定し、自然の道とした。サブルートを入れ、その総延長は1,697kmに及ぶ。（自然歩道の理念・解説）

喜寿を迎える前までに完歩しようと決心し、2014年4月クラブツーリズムが主催する「東海自然歩道歩き旅」ツアーに参加したが、数回催行しただけでツアー催行人員未達となり、自然歩道歩きは中止となってしまった。しからば一人で歩こうと決心し、丹沢から西に向かって歩き始めた。

昭和の時代には活気があった集落も、平成に入ると人口が減り、過疎化が進んで旅館も民宿も廃業に追い込まれてゆく。平日は7本もあるバスも、休日には3本になってしまう。

丹沢を越えるときは天幕持参となったし、静岡県を通過するときはビバークをした時もあった。崖崩れや、手入れ不足で通行困難な箇所も至る所にあったし、道標が朽ち果てて倒れ、なくなっている場所もあった。登山技術を必要とする箇所も多々あり苦労させられた。

通り過ぎる集落の人達の親切が忘れられない。静岡では私の為にログハウスを提供してくれたし、山の中の民宿では、鹿のステーキを御馳走になり、鹿の燻製をお土産に頂いた。電車内で乗り合わせた韓国のお坊さんが、偶然私の泊まる集落のお寺に居て日韓会談をしたし、たくさんの出会いがあった。

静岡では茶畑の中を歩き、岐阜県では旧中仙道で栗拾い、関ヶ原では古戦場を横切る。三重では鈴鹿峠を越えて風車の回る青山高原で野宿。室生寺に参拝し、奈良山の辺の道を通り柳生街道を笠置へ、宇治平等院を見て滋賀県石山寺へ、比叡山を越えて大原へ、鞍馬・高尾の景勝を愛でて嵐山へ、ゴールの箕面ビジターセンターまでわくわくするトレイルであった。

完

写真は次ページ



東海自然歩道（高尾山～みのお）1,343 km概念図。



東海自然歩道高尾山、東の起点にて（2014年5月18日）



東海自然歩道(東京高尾山～大阪みのお1,343km)2018年4月26日12時50分ゴール

2018年4月26日大阪箕面ビジターセンターにて、ゴール



完歩記念証と全歩行ノート記録。